

札幌市における都市緑化の現状と今後の課題

北海道大学農学研究院 准教授 愛甲哲也 氏

King Of Dog Sports ～犬ぞり～ 国際技建(株)代表取締役、 日本犬ぞり連盟会長 林 里紅 氏

こんにちは 林 里紅です。本日は貴重なお時間を頂きまして誠にありがとうございます。私は札幌市東区で生まれ育ちまして、24歳の時にアラスカへ移住しました。プロレーサーとして16年間アラスカ州に住むことになり、2005年の犬ぞり世界チャンピオンとして今日はアラスカのお話、犬ぞりのお話をさせて頂きます。

2007年にレースを引退し、2014年父が経営をしていた国際技建株式会社に入社しました。この会社は、JRのレールの溶接、新幹線・市電のレールの溶接や圧接をさせて頂いている会社でありまして、皆様知って頂く機会がなく、また子供達にも是非知って頂きたいと思い、漫画を取り入れてホームページを作っています。

まずは簡単にアラスカのご紹介をさせて頂きます。アラスカは実は日本から1番近いアメリカ、日本から直行便で行きますとたった6時間半で着いてしまいます。犬ぞりはそんなアラスカの州技です。どんな環境で世界の犬ぞりが行われているのかご紹介致します。

人口68万人のアラスカは日本の約4倍の広さを持つアメリカ合衆国第49番目の州です。主な産業は石油、観光、水産、そして軍隊です。アラスカ最北端のブルドーベイでは今でも石油が掘られトランス・アラスカ・パイプライン・システムによってバルディーズという港町まで運ばれております。

今でも電気は自家発電、井戸水で生活している人が沢山おります。野生動物も多く住み、グリズリーベア、オオカミ、ムース、カリブーなどをよく見かけます。夏にはサーモンのフィッシングが盛んでキングサーモンを釣って食料とします。ハンティングで獲た動物のお肉は食べ毛皮も捨てずに防寒具として利用します。

四季があり、夏は+35度以上、冬は-40度を下まわります。アラスカを代表するものは何と言ってもオーロラです。英語ではノーザンライトと呼びます。

そんなアラスカの州技でもあります犬ぞり。毎年カナダ、ヨーロッパなどから各国のチャンピオンが集まり世界一はアラスカで決まります。レースは全て賞金レース、犬ぞりには種類があり大きく分けて短距離、中距離、長距離にわかれております。私は長年短距離の選手としてレースに出ておりましたが、1日30km～50kmを3日間走るタイムレースで勝敗が決まります。

冬になるとアラスカ各地でレースが行われその模様はテレビやラジオで生中継されます。犬ぞりは今でもギャンブルとしても楽しまれております。

犬ぞりのレーサーたちは犬の繁殖、飼育管理、トレーニング、栄養学、獣医学を全て行い心を持つ犬たちの痒いところに手が届くレーサーが勝てると言われております。

世界チャンピオンにまでなった私の仕事としては今後この日本でも犬ぞりの発展普及に努め札幌冬季オリンピックが実現すれば是非、公開競技などで犬ぞりを走らせることが出来たら嬉しいです。

最後に North to the future アラスカ州のモットーです。

この北海道、札幌にピッタリのモットーですね！

本日はご清聴ありがとうございました。

